

あの手 この手

2015
11月号



▲深見歴史の森のオオケマイマイ
大和の森・公園シリーズ⑧⇒4面

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第100号 2015年11月10日発行



「みんなで川へ」(堀かおりさん/上和田小4年/ペルー)

今年度の表紙は「やまと国際フレンドクラブ(IFC)」主催の
<やまと国際アートフェスタ>入賞作品を掲載しています。
今号は「Atelier My Heart賞」を受賞した作品です。

堀かおりさんのメッセージ

この作品は、家族の大切さを描きました。いつも
家族は、私が困ったとき相談にのってくれます。
私は、家族を大事にしていきたいです。

おかげさまで「あの手この手」が100号になりました！
カッコフェスタも10回、「やまとっこ☆みつけた」も250回！

**記念プレゼント
実施！**

当センター発行の広報紙「あの手この手」創刊号は、センターが開設された2004年11月の翌年3月に発行されました。

2007年9月発行の9号までは季刊、その後は月刊となり、2010年度だけは隔月刊(39~44号)でしたが、以後月刊で発行し続け、今号でついに100号を数えるに至りました。

これもひとえにセンターを利用し応援して下さった多くのみなさんのおかげと深く感謝しています。また、終わったばかりのカッコフェスタも

10回、さらに、FMやまとの「やまとっこ☆みつけた」も10月20日で放送250回と、期せずしてタイミングも重なりました。

これを記念してみなさんへのプレゼントを用意いたしました。折込の案内をご覧いただき、センターにご持参ください。先着50名様に抽選で図書カードほか各種景品をもれなく差し上げます。

なお、10周年記念誌「大和市民活動センター10年のあゆみ」も遅ればせながら完成しました。センターに置いてありますので、是非ご覧ください。

市民活動交流まつり カッコーフェスタ'15 写真レポート 11月7~8日

来場者は、初日は1600名、2日目は生憎の天気で500名でしたが、計2100名で大いに盛り上がりました！



▲「やまといきいき健康体操」でイベントスタート！



▲カトリア会のブースでは、子どもたちも、石粉粘土で花づくりを体験しました。



▲珍しいスティールパン(スティールドラム)の演奏も。終了後、みんな興味しんしんで自然と集まり、実際に叩かせてもらいました。演奏は、トリニダード・トバゴ出身、在日20年のロジャー・モーガンさん。



▲12月に設立記念ガラコンサートを開催するやまと国際オペラ協会の面々が美声を披露してくれました。右端が会長の長谷部さん。



▲「出張！やまとボランティア総合案内所」も開設。室外にもボランティア情報募集を貼り出し、興味ある人にご案内しました。



▲柏木学園高等学校短歌書道部の作品に思わず足をとめる人も。顧問の濱谷先生の達筆に「筆」の力を感じました。



▲南京玉すだれの会のワークショップ。南京玉すだれ(写真)のほか、血回し・傘回し、デビルスティックなどを披露。子どもたちも挑戦し、血回しは結構上手に回せる子も。

◆10周年を迎えたカッコーフェスタ。センター内外のスペースで、それぞれの活動のPRが繰り広げられました。出店団体のみなさんは、役割をしっかりと把握されていて、当日のテント上げもスムーズでした。**麦の香り**は“カッコちゃんパン”はじめ、パンの売れ行きがよく、午後1時には完売。**子どもエコクラブ**の“ゴミつりゲーム”も好調で、翌日のために飴を買い足したとか。**ナルク横浜**にはお馴染さんが立ち寄り、**チームピースチャレンジャー**のコーナーにも毎年訪れる人がいて、継続の大切さを実感しました。



大和市の観光資源を発掘、企画する会のワークショップで、大和十龍(とうりゅう)巡りのご朱印帳をみんなで作りました。⇒



▲チームピースチャレンジャーは、インドの民族衣装サリーの着付け体験も実施。「ナマステ！」

「神奈川県美化運動推進功労者」 として表彰されました！ 引地川水とみどりの会

引地川水とみどりの会は、今年度の神奈川県美化運動推進功労者として11月11日に黒岩祐治県知事より表彰されました。「地域における美化運動の推進に多年にわたり尽力」してきたことが高く評価されたものです。事務局長の五味さんは「これを機に、さらに活動に力を入れていきたい」と抱負を語ってくれました。なお、同会は、2008年にも、神奈川県央地区環境保全功労表彰を受けており、今回で二度目の表彰となります。

タッチで知る 親の気持ち、子の気持ち 「タッチ・プログラム」講座開催中！ 親と子のタッチ研究会

身体接触を通じ、親の心、子の心を素直に伝える「タッチ・プログラム」(FTP)。平成27年度大和市市民活動推進補助金事業として4回講座を開催中です。1回目は妊婦向けに8月に開催されましたが、2・3回目は支援者向け講座で、11月8日には高座渋谷のI K O Z Aで2回目が開催され18名が参加。さまざまなグループワークを通じ交流を深めつつ、子どもとの関わり方について楽しく学んでいました。3回目は11月29日、4回目は中高大生を中心に12月に開催します(下記参照)。

協働事業“はぐくねっと”活動8周年記念 イオンモール大和に「きて・みて・遊ぼう」

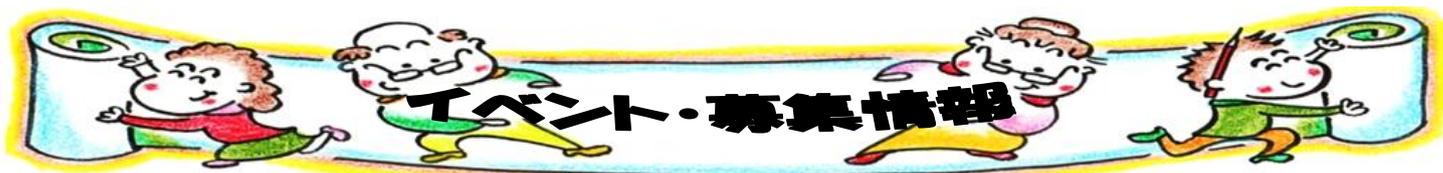
“はぐくねっと”とは、NPO法人地域家族しんちゃんハウスが協働事業に提案し、大和市子ども総務課とともに進めている子育て支援事業。当日は、ステージイベントのほか、パルーンアートコーナー、手形コーナー、身長・体重・相談コーナーなども設けられます。参加費は無料です。

日時：11月28日(土) 13:00開場
13:30~15:30(ステージイベント)
会場：イオンモール大和イオンホール
(下鶴間駅より徒歩7~8分)
問合せ：TEL 090-3685-2288(子ども〜鶴間)
TEL 046-260-5606(大和市子ども総務課)

「タッチ・プログラム」講座第4回(最終回) 中高大生と次世代の子育てを考えよう！

「タッチ・プログラム」によって、さまざまな育児場面を参加者同士でロールプレイング(役割演技)しながら、実際の子育てで困る場面をイメージし、問題解決の糸口を考えます。今回は一般向けで、とくに若い人、中高大生は大歓迎です。

日時：12月13日(日) 14:30~16:30(受付14:15~)
対象：中高大生・保護者の方・乳幼児を子育て中の方
会場：大和市林間学習センター101号室
会費：300円(当日払い)
申込：E-Mail: developpsy@yahoo.co.jp
※氏名・年齢・性別・住所・電話番号・(学校名)を記入
主催：親と子のタッチ研究会 TEL 080-5872-8815



発達障がい児と家族のための ふれあいコンディショニング体操

発達障がいの子にありがちな“からだのクセ”に効果的なアプローチ法を学びます。手や背中、体のいろいろなところに触れて、感じて、遊ぶことを通して睡眠の質や排せつ力が高まり、身体をラクにするヒントを探ります。参加費は無料です。

日時：11月23日(月・祝) 13:30~15:00
講師：栗本啓司氏(からだ指導室あんじん主宰)
会場：横浜市立二つ橋高等特別支援学校体育館(駐車場あり)
※横浜市瀬谷区二ツ橋470 三ツ境駅より徒歩15分
申込：NPO法人まんま
TEL 045-303-5393(月~金 10:00~17:00)
FAX 045-442-3666(24時間可)

第13回マンション管理セミナー マンションと地元自治会の連携事例に学ぶ

マンションの管理組合と地元の自治会は、なかなか交流がないものですが、災害時にお互い助け合い連携した成功事例は全国にあります。その調査報告書をまとめた阪井さんに事例紹介と連携成功の秘訣をお話いただきます。会費無料です。

日時：12月19日(土) 18:30~20:00
会場：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム1
※ポーノ相模大野サウスモール3階(相模大野駅直結)
講師：阪井暖子氏(前・国土交通省国土交通政策研究所研究官)
内容：マンションと地域連携による地域防災力の強化方策
主催：NPOかながわ県央マンション管理組合ネットワーク
問合せ：TEL: 046-264-6054(向井)

第68回共育セミナー「まちづくりワークショップ」 3人の方の成功事例もうかがえます！

12月13日(日)に勤労福祉会館で開催する当センターの「まちづくりワークショップ」。冒頭で3人の方に成功事例をうかがうことにいたしました。この話だけでも必聴です！

- ①「トイレ」と「龍」から 私たちの活動は広がった。
大和市の観光資源を発掘・企画する会 上田康史さん
- ②「レコード」と「コーヒー」が人と地域をつなげた。
今宿地域ケアプラザ(横浜市旭区)
地域交流コーディネーター 真鍋敦さん
- ③「映画誘致」と「プロレス」が街を元気にした。
社会福祉法人光友会(藤沢市)理事 杉下由輝さん

10月25日(日) / 晴れ

デイスーパーハッピー鶴間で、柏木学園高校生4人が書道吟を披露。2人の女子が吟じる声に合わせて男子2人が大きな書道板にスラスラと筆を走らせ、息はぴったり。詩吟に合わせて剣舞の場面で挿入された「荒城の月」の歌を93歳の女性が高校生の声に合わせて歌い出し、釣られて参加者全員で合唱に。終了後も93歳を真ん中に詩吟や書道・剣舞の話が尽きませんでした。



「センター」の
ある日ある時

